

和泉川・雨水測定 2019年 7月

東山の水辺

日	曜	時刻	水位 cm	流速 目視	流量 m3/分	雨量 mm	気温 ℃	水温 ℃	pH	電導率					その他(生物、透視度等)	
										マ	ク	オ	ザ	ス	その他	
1	月	18:25	22.4	薄泥流		7	23.7	22.3	7.0	181			14			
2	火	18:10	23.0	良流		1	24.1	22.4	6.7	200	1		10		タモロコ2 カワニナ2	
3	水	18:25	21.5	良流		0	23.6	23.5	6.8	210			11			
4	木	18:15	23.1	良流		12	21.7	21.8	7.0	155	2		7		ヌマエビ1 カワセミ(糞)	
5	金	17:10	21.8	良流			22.8	22.1	7.1	210		1	9		ヌマエビ2 カルガモ1 シジュウカラ1	
6	土	18:10	23.0	良流		32	21.9	21.7	7.1	210			6		カワセミ1 カルガモ1	
7	日	18:25	25.0	良流		16	19.0	20.3	7.1	195					— コジュケイ(鳴)	
8	月	18:25	23.0	良流		6	21.1	21.3	7.1	220	1		13		ドジョウ大1 カワセミ1	
9	火	18:30	22.5	良流			18.8	19.9	7.0	220			5		シマドジョウ1 カワムツ(?)小6	
10	水	18:35	22.1	良流			21.6	22.3	7.2	220			6		タモロコ1 ヌマエビ1 カルガモ1	
11	木	18:20	22.6	良流		2	19.8	20.4	7.2	210	1		3		ヌマエビ1	
12	金	18:30	22.5	良流		15	20.9	21.1	7.2	182			5		カルガモ1	
13	土	18:55	22.2	良流		3	22.9	21.9	6.8	210	1		5		ゴイサギ1 カルガモ2	
14	日	18:30	24.4	良流		38	21.4	20.9	6.9	200			12			
15	月	18:50	23.5	良流		11	21.9	20.7	7.1	200	2	1	5		オイカワ1 婚姻色 シマドジョウ1 ヒグラシ初鳴 カワセミ1	
16	火	18:30	26.5	薄泥流		34	22.1	20.8	7.1	159					—	
17	水	18:55	24.7	良流		6	23.9	21.8	6.8	220	1		8		ヒグラシ スズメ3 ヤマガラ2	
18	木	18:45	24.2	良流		0	25.2	23.7	7.0	260			4		タモロコ2 カワニナ1 ヒグラシ	
19	金	18:05	24.0	良流		13	26.3	24.3	6.8	270					— ヒグラシ	
20	土	18:20	23.6	良流		1	25.6	22.2	6.9	210	1		5		ヒグラシ	
21	日	18:10	23.2	良流		0	26.1	23.1	7.0	250		1	5		ヌマエビ1 ヒグラシ	
22	月	18:30	23.2	良流		2	23.1	21.1	7.0	240	3	1	3		ヒグラシ	
23	火	18:35	22.6	良流			26.1	25.0	7.0	230			4		ヌマエビ1 ヒグラシ	
24	水	18:25	22.2	良流			26.2	23.8	7.0	220	1	1	2		カワセミ(糞) カルガモ1 ヒグラシ	
25	木	17:35	22.7	良流			27.8	26.9	7.1	220			4		シマドジョウ1 カワニナ1 幼魚(アブラハヤ)3	
26	金	18:25	21.6	良流			26.5	27.0	7.1	240		1	9		ドジョウ1 カワニナ1 ヒグラシ	
27	土	17:55	21.9	良流		28	26.4	27.0	7.1	230		1	7		ヌマエビ1 カワニナ1 シマヘビ1 ヒグラシ	
28	日	18:30	21.4	良流		8	27.4	28.1	7.0	220			5		ヌマエビ1 ヒグラシ	
29	月	18:10	21.4	薄白濁			28.7	28.4	7.1	240	1		7		ヤマガラ2 ヒグラシ	
30	火	18:25	20.6	良流			28.3	28.2	7.0	230	1	1	2		ヒグラシ	
31	水	18:05	20.1	良流			29.1	28.9	7.0	230	1		6		ヌマエビ1 ヒグラシ	
計			22.8	良28		235	24.0	23.3	7.0	216	17	8	182	0	タモロコ5 ドジョウ2 シマドジョウ3	
特記														ヌマエビ10 カワニナ6 カワムツ似小6		

降雨日が21日と大変多く、総降雨量も230mmを越えている。それに伴って水位も高く良流が28日もあった。昨年018年7月は異常な高温が続き、017年は降雨が少なく半月干上りが続いた。近年極端な気象状態がおきている。これも温暖化の表れなのか。水生生物も今年1・2月の干上りの影響が出終わっていない。ザリガニが多く、カワセミ、カルガモの子などの野鳥の出現が少ない。オオブタクサが背を伸ばしてきた。来年の発生を抑えるためにも結実前に刈り取りを終了させたい。